

令和2年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S10-02-01		
施設名	花の木ひろば館				
所在地	荒川五丁目50番5号(荒川保育園併設)				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年 45,804			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年10月24日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月1日	職員数	13	7	
構造	RC造	階層	地上4階		
面積	敷地面積	荒川保育園敷地内(1,065.22㎡) m <sup>2</sup>			
	延床面積	918.85㎡ m <sup>2</sup>			
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	保育課、区民施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	5台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。					
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	年間利用者数(人)		37,548	42,564	40,628	40,444
開館日数(日)		292	293	293	264	226
に指定 等管理 費理						

備考 年間利用者数は、40,000人前後で推移している。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止している。

**III 財務諸表**

(単位:千円)

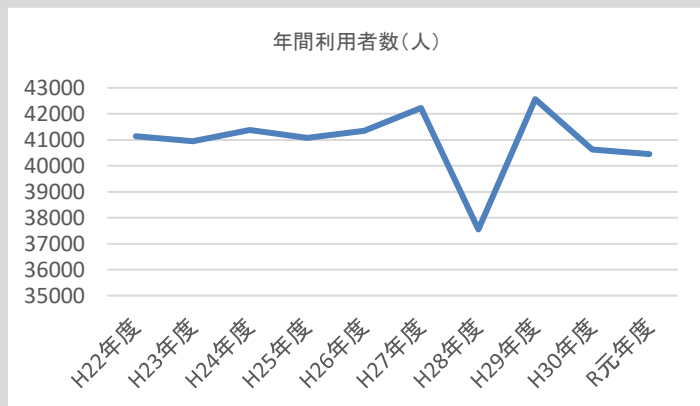
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	64,769	71,663	6,894	地方税等	0	0	0
物件費	7,818	8,064	246	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	1,131	1,132	1	都支出金	200	723	523	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	305	171	▲134	使用料及び手数料	20	9	▲11	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	220	732	512	
賞与・退職給与引当金繰入額	5,011	8,197	3,186	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲78,814	▲88,495	▲9,681	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	79,034	89,227	10,193	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲78,814	▲88,495	▲9,681	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲78,814	▲88,495	▲9,681	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	2,683	3,235	552
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	2,683	3,235	552	
有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
土地	0	0	0	固定負債	29,732	36,569	6,837	
建物	45,804	45,804	0	特別区債	0	0	0	
建物減価償却累計額	▲45,804	▲45,804	0	退職給与引当金	29,732	36,569	6,837	
工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	32,415	39,804	7,389	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲32,415	▲39,804	▲7,389	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲32,415	▲39,804	▲7,389	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	
資産の部合計	0	0	0					

備考 行政費用の大半は、給与関係費等を除き、事業用消耗品購入費や保守点検に係る委託料等の物件費が占めている。

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	58	58	58	57.5	
	1㎡当たりコスト(円)	90,005	92,680	86,014	97,107	
	経費に占める収入の割合(%)	2	1	0	0.8	
	開館1日当たりコスト(円)	283,221	290,645	269,741	337,981	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,203	2,001	1,945	2,206	
	人にかかるコストの割合(%)	90	90	88	89.5	
備考	昨年度と比較して、開館日数及び年間利用者数の減少により、開館1日当たりコスト及び利用者1人当たりコストが増加している。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )						
目標指標	指標名・単位		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	年間利用者数	目標値	-	41,800	42,760	41,200	27,860
		実績値	37,548	42,564	40,628	40,444	27,860
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無						
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場						
現状・課題	○施設及び設備の老朽化により、改修等が必要な箇所がある。将来的にふれあい館への移行を見据えながら、施設の機能・性能の保全に努め、修繕を計画的に推進している状況である。 ○区内で唯一の木工室や読書コーナー等がある花の木ひろば館の施設の機能を活かしたひろば館運営が必要である。						
課題に対する現時点での考え	○木工室や読書コーナー等、花の木ひろば館の施設の機能を活かし、児童にとって魅力的な事業を実施し、児童の利用増に繋がる取り組みを検討する必要がある。						
議会、利用者等からの意見							



年間利用者数は、40,000人前後で推移している。

令和2年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S10-02-02		
施設名	熊野前ひろば館				
所在地	東尾久五丁目9番3号(男女平等推進センター併設)				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成9年	347,575	国・都	区債
	増改築①				一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成9年3月29日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成9年4月1日	職員数	13	2	
構造	RC造	階層	地上3階、地下2階		
面積	敷地面積	男女平等推進センター敷地内(1,031.56㎡)			㎡
	延床面積	598.65㎡			㎡
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	総務企画課、区民施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	年間利用者数(人)		49,018	50,688	44,817	42,533
開館日数(日)		292	293	293	264	226
に指定 等管理 費理						

備考 開館日1日当たりの利用者数は増加傾向にある。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止している。

**III 財務諸表**

(単位:千円)

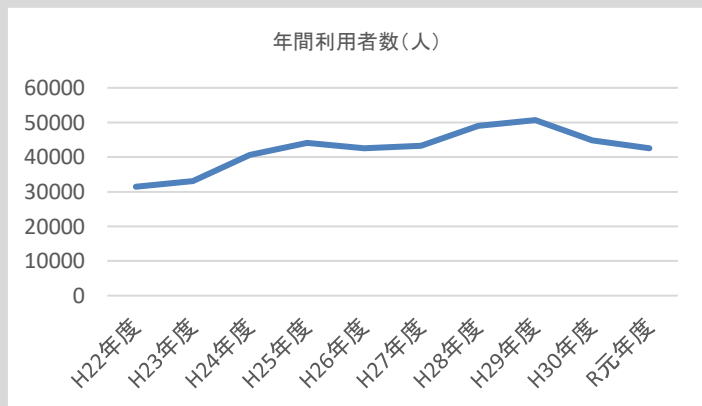
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	行政費用	給与関係費	73,174	72,945	▲ 229	地方税等	0	0
行政費用	物件費	4,423	3,884	▲ 539	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	1,332	855	▲ 477	都支出金	150	375	225
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	220	143	▲ 77	使用料及び手数料	300	273	▲ 27
	減価償却費	9,385	10,006	621	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	450	648	198
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,662	8,344	2,682	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 93,746	▲ 95,529	▲ 1,783
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	94,196	96,177	1,981	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 93,746	▲ 95,529	▲ 1,783
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 93,746	▲ 95,529	▲ 1,783	
貸借対照表	流動資産				勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	3,031	3,293	262
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	141,013	131,007	▲ 10,006	賞与引当金	3,031	3,293	262
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	356,857	356,857	0	固定負債	33,591	37,223	3,632
	建物減価償却累計額	▲ 215,844	▲ 225,850	▲ 10,006	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	33,591	37,223	3,632
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	36,622	40,516	3,894	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	104,391	90,491	▲ 13,900	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	104,391	90,491	▲ 13,900	
資産の部合計	141,013	131,007	▲ 10,006	負債及び正味財産の部合計	141,013	131,007	▲ 10,006	

備考 行政費用の大半は、給与関係費等を除き、施設に係る減価償却費と事業用消耗品購入費や保守点検に係る委託料等の物件費が占めている。

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	57	59	61	63.3	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	26	26	26	26.3	
	1㎡当たりコスト(円)	156,492	158,999	157,347	160,656	
	経費に占める収入の割合(%)	0	1	1	0.7	
	開館1日当たりコスト(円)	320,835	324,863	321,488	364,307	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,911	1,878	2,102	2,261	
	人にかかるコストの割合(%)	86	85	84	84.5	
備考	昨年度と比較して、開館日数及び年間利用者数の減少により、開館1日当たりコスト及び利用者1人当たりコストが増加している。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	年間利用者数	実績値 49,018	目標値 49,500	53,527	45,200	30,956
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場					
現状・課題	○男女平等推進センターと一体になって施設の機能・性能の保全に努めながら、修繕を計画的に推進している。 ○2号事業ひろば館で唯一の多目的室を活用したひろば館運営が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○令和2年度は、多目的室の空調設備改修工事の実施を予定している。 ○多目的室を活用したJUMP-JAM(ジャンジャン)等、体を動かすプログラムの充実や中高生の居場所を提供することで、児童、生徒の利用増に繋がる取り組みを検討する必要がある。					
議会、利用者等からの意見						



開館日1日当たりの利用者数は増加傾向にある。



令和2年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S10-02-03		
施設名	西日暮里二丁目ひろば館				
所在地	西日暮里二丁目32番25号(ひぐらし小学校敷地内)				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成28年 289,008			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	平成28年4月13日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成28年4月18日	職員数	16	7	
構造	鉄骨造	階層	地上3階		
面積	敷地面積	562.75㎡			
	延床面積	833.74㎡			
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	区民施設課、教育施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブ及び放課後子ども教室を運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	年間利用者数(人)	(28年度に移転)	55,735	56,303	60,694	50,746
開館日数(日)		293	293	293	264	226
に指定 等管理 費理						

備考 開館日1日あたりの利用者数は200人程度で推移している。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止している。

**III 財務諸表**

(単位:千円)

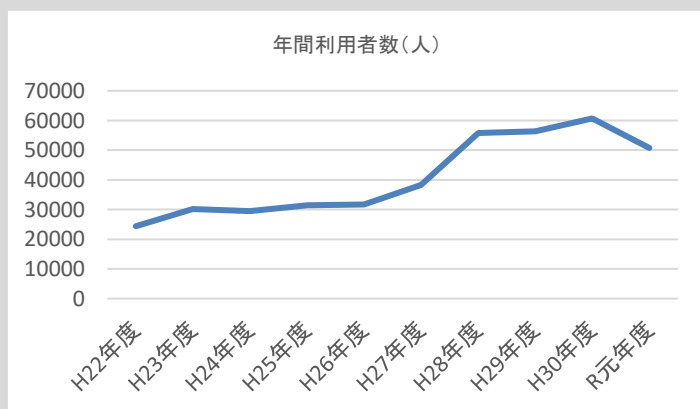
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	行政費用	給与関係費	81,213	81,669	456	地方税等	0	0
	物件費	5,268	5,798	530	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	342	342	都支出金	150	312	162
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	233	158	▲75	使用料及び手数料	72	59	▲13
	減価償却費	9,591	0	▲9,591	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	222	371	149
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,284	9,342	3,058	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲102,367	▲96,938	5,429
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	102,589	97,309	▲5,280	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲102,367	▲96,938	5,429
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲102,367	▲96,938	5,429
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,364	3,687
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	0	271,447	271,447	賞与引当金	3,364	3,687	323
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	271,447	271,447	固定負債	37,281	41,674	4,393
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	37,281	41,674	4,393
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	40,645	45,361	4,716
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	230,802	226,086	▲4,716
	その他の固定資産	271,447	0	▲271,447	正味財産の部合計	230,802	226,086	▲4,716
	資産の部合計	271,447	271,447	0	負債及び正味財産の部合計	271,447	271,447	0

備考 行政費用の大半は、給与関係費等を除き、事業用消耗品購入費や保守点検に係る委託料等の物件費が占めている。なお、リース資産から区公有財産となったため、元年度の減価償却費は0となっている。

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100	-	-		
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	-		
	1㎡当たりコスト(円)	228,026	235,233	123,047	116,714	
	経費に占める収入の割合(%)	0	1.0	2	3.8	
	開館1日当たりコスト(円)	64,886	66,936	35,013	36,859	
	利用者1人当たりコスト(円)	3,411	3,483	1,690	1,918	
	人にかかるコストの割合(%)	47	51	85	93.5	
備考	昨年度と比較して、開館日数及び年間利用者数の減少により、開館1日当たりコスト及び利用者1人あたりコストが増加している。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	年間利用者数	実績値 55,735	目標値 56,000 実績値 56,303	56,866 60,694	61,200 50,746	37,729 37,729
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場					
現状・課題	○平成28年3月までは、ひぐらし小学校内でひろば館を運営していたが、同校の児童数の増加に伴い、平成28年4月に学校敷地内にひろば館を新設(移設)し、ひろば館事業、学童クラブ事業及び放課後子ども教室事業を実施している。 ○学童クラブの利用者が多い上、にこにこすくーるの実施場所であるため、午後の乳幼児親子の利用者が少ないことが課題であるが、小中学生の利用は着実に増加している。					
課題に対する現時点での考え	○今後、ひぐらし小学校の児童がさらに増えていくことが想定されているため、学校等と調整し、スペースの有効利用について検討・調整していく。 ○中高生の居場所づくりの工夫を図り、中学生の利用者の定着を目指すとともに、令和2年度から、小学生が来るまでの午後の時間を優先的に乳幼児が利用できるプログラムを検討し、乳幼児の利用増を目指す。					
議会、利用者等からの意見						



開館日1日あたりの利用者数は200人程度で推移している。